㉓**陵南中学校**

会長　中玉利　知博

例年通りの活動が出来ず無念な一年でしたが、各部・学校行事においては制限された中、できる範囲で活動して頂きました。コロナウィルスが早く終息し、子どもたちをはじめ、携わる全ての皆さまが安心して過ごせる日が戻ればと思っています。

㉔**横川小学校**

会長　用貝　大星

コロナ禍により、PTAをはじめ思うような活動ができない状況です。できないことが、次第に当たり前になり、なくてもいいという考え方だけは避けないといけません。「できない」を上手く「できる」に変換し、活動を続けていきたいと思います。

㉕**安良小学校**

会長　内田　正幸

私は感染症予防に疎いのですが、医療・介護関係の保護者からの訴えと先生方の御尽力により、細々とできる範囲での活動のみとなり、人前で話すのが苦手な私としては、機会が減ってほっとしております。ただ、子ども達には例年と違う環境で感じた事を糧に成長して欲しい、と勝手都合よく考えております。

㉖**佐々木小学校**

会長　福元　直樹

佐々木小学校は児童数が少ないですが、PTA活動に関しては、保護者含めて全員積極的に参加されており、児童も楽しみにしていたので、今年は本当に辛い一年でした。ただ、色々なアイディアで少しではありますが、活動ができた事は前向きに捉えています。

㉗**横川中学校**

会長　池島　博志

横川中学校は、先生方・保護者の協力をいただきながら、できる範囲で行事に取り組んでいます。コロナの影響は精神面・身体面と大きな影響を受けましたが、この事がきっかけで逆に、皆の心が1つになっていると思います。大人も子どもも、今自分ができる事を精一杯、頑張るという心に繋がっています。

㉘**牧園小学校**

会長　長野　聡

今年度は新型コロナウイルスの影響で学校関連行事も中止・縮小を余儀なくされて、各学校の先生方・PTA役員の皆様方におかれましては、対処に苦慮されているかと存じます。そんな中でも子どもたちは一つ一つの行事を大切に一生懸命頑張っています。その子どもたちが頑張れる、笑顔でいられる環境を作るため、学校とPTAとの連携が必要不可欠だと実感しました。無限の可能性を秘めている子どもたちの成長を、全体で見守っていけるPTAであることを願います。

㉙**中津川小学校**

会長　新里　大輔

中津川小では感染症対策を講じた上で、小規模校である良さを活かし、地域合同運動会や農道を走る持久走大会など地域一体となった行事を実施しています。自立分散型社会への移行が必要であり、教育運営も変化の時が訪れているのではないでしょうか。

㉚**万膳小学校**

会長　南　泉

万膳小は、児童数が9名の小さな学校です。コロナ禍の中でも元気に過ごし、懸命に取り組む姿を見せてくれた子どもたちに感謝の一年でした。次年度は、子どもたちの楽しみや頑張りが中止や縮小にならないよう、一日も早い収束を願っています。

㉛**持松小学校**

会長　鮫島　拓己

本年度一番残念な事、コロナ禍で6年生は最後の行事等ができなかった事。PTA活動は小規模校な為、ある程度実施できた。しかし、子ども達と共に考えさせられた一年。当たり前の日常がどれほど幸せな事だったのか、他人を思いやる気持ちと行動についての大切さを感じた。

㉜**高千穂小学校**

会長　榎　裕太郎

新型コロナウィルスにより、当たり前の日常が一変し、思うような活動が出来ない一年でした。そんな中でも、子ども達の為に一生懸命に考え活動してくれている保護者の皆様、本当にありがとうございます。

㉝**三体小学校**

会長　八重山　剛

今年度のPTA活動は、始めから終わりまで新型コロナウイルスに翻弄される年度になりそうです。これまで学校、保護者、地域のみなさんと、どうしたら子ども達の安全を守りつつ学校行事ができるかを協議してきました。やむを得ず規模縮小や中止し、子ども達に残念な思いをさせたかもしれません。しかし、これからも子ども達の安全を第一に考え、新型コロナウイルスの早期終息を願い、良い思い出に残る学校生活を送って行けるように学校、保護者、地域の方々と知恵を出し合いPTA活動を行っていきたいと思います。

㉞**牧園中学校**

会長　西　一登

本年度は全ての事柄がコロナ禍の自粛ムードの中で行われた、大変難しい年となりました。しかし、限られた条件下でも本校の子ども達は、生き生きと活動を行っていたのが印象的でした。私達はこれからも笑顔が続くようにフォローが出来ればと思います。

㉟**霧島高等学校**

会長　山下　大介

これまで当たり前のように行われていた学校生活やPTA活動が、ほとんど行えないという現実に直面し、とても寂しい気持ちを強く持ちました。感染予防に気をつけながら、一日でも早く、以前の日常が戻ってくることを心から願っています。

㊱**霧島小学校**

会長　前川　慎一

今まで経験したことのない事態に、学校、家庭でも日々心配が尽きませんが、子ども達の明るい未来を信じ、生徒、保護者、先生一丸となり大きな局面を乗り切る覚悟です。行事も、中止にするのは簡単ですが、いかに新しい生活様式を取り入れ行うことができるのか、これまでの行事進行についての見直しや、新たな行事（密にならない工夫）を取り入れ行うことができ、工夫一つで状況が変わっても前に進んでいくことができるのだと実感いたしました。まだまだ時間がかかるかもしれませんが、状況に合わせ様々な立場からの意見を参考に、考える力が必要ではないのかと感じます。

㊲**大田小学校**

会長　富田　淳也

今年度は色々な場面で、当たり前というものを考えさせられました。今まであたり前だったことが、こんなにも有難いことだったと。人間社会の脆さを感じた一年でした。新しい生活環境の中で、前向きな考動がより必要になってくるのでしょう。

㊳**永水小学校**

会長　本田　格

永水小学校は行事や活動を地域と共に実施することが多い学校だが、新型コロナウイルスの影響で縮小せざるを得ないことが多かった。それでも児童・保護者・地域の方々に喜んでもらえるよう、今後も感染対策を徹底しながら進めていきたい。

㊴**霧島中学校**

会長　黒江　直子

今年度は、今までの生活をガラリとかえなければならないような状況となり、今までの「当たり前」が当たり前でなくなり、転換の時期、と受けいれるには、なかなか時間がかかります。PTA活動も柔軟に対応していかないといけないと感じますが、何より、生徒さん、先生、保護者、地域の皆様が、元気でいることが、何ものにも代えがたい喜びです。

㊵**富隈小学校**

会長　安藤　剛

今年度はコロナ禍で例年通りの活動が満足にできていませんが、できる範囲で柔軟に対応しています。新型コロナの早期終息を願いつつ、来年度も前例や慣習にとらわれず、創意工夫を重ね、子どものためになる事を考えていきたいと思います。

㊶**宮内小学校**

会長　仮屋　裕香

今年度、PTA会長を務めさせていただく中で、様々な葛藤と決断がありました。ですが、このコロナ禍で何もできない状況だからこそ、宮内小学校PTAを見直すチャンスだと思い組織改革を進めております。PTAとは、先生と保護者を繋ぐ架け橋です。子ども達のために、保護者のために、楽しく参加しやすいPTAにしていきたいと思います。

㊷**小野小学校**

会長　萬徳　賢一

本年度は、新型コロナウイルスの影響が多くありましたが、感染拡大を考慮しますとやむを得ない事と認識しております。特に医療従事者への配慮は気を付けねばならない事であると、強く感じます。又、運動会等、例年と違う方法で運営した中で、新たな発見もあり、今後に良い影響が出るのではないかと、期待もしております。これからも徹底したマスク着用を、先生と親子で再認識していく必要があると感じました。忍耐強く、日々言い続ける・情報を発信し続ける事が重要ではないかと考えます。

㊸**小浜小学校**

会長　湊　大慶

新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の事態の中、PTA行事に関しても、規模縮小や中止を余儀なくされました。制限の多い環境でのこの一年でしたが、この状況を乗り越えた先に、子ども達が、一段と成長していけることを信じて、見守っていこうと思います。

㊹**日当山小学校**

会長　黒木　啓介

思うような活動ができなかった中でも『今、私達にできる事は何か?』を役員と共に考える時間が増えました。『できる人が、できる時に、できる事を』原点に返り、小さな事からできる事を見つけていければと思います。よろしくお願いします。

㊺**中福良小学校**

会長　増留　幸子

コロナ禍でPTA活動が中止となる中、中福良小は子どもたちの思い出に残る行事を縮小して実施することができました。縮小しても活動を成功させたい願いが1つになり、無事に活動ができたことで、団結力のあるPTAだと心から確信も得られました。

㊻**隼人中学校**

会長　日髙　龍志

コロナ禍での活動は、いかに会員同士協力し合うか、試行錯誤の一年でした。体育大会は感染防止のため保護者は参観できませんでしたが、子どもたちの雄姿を撮影し、DVDを配布しました。コロナをきっかけに、今後を見据え、PTA活動の再編準備を進めているところです。

㊼**日当山中学校**

会長　平原　輝美

今年度のPTA活動は、新型コロナの影響で今までの常識が通用しない状況です。生徒や先生方、保護者も不安な気持ちの中、試行錯誤の連続だったと思います。しかしある意味でいい経験になっている部分もあります。世の中は良い方向に進んでいる事を信じて、収束を願うばかりです。

㊽**隼人工業高等学校**

会長　中尾　規男

緊張の続く日々の中で、子どもたちは今の状況をしっかりと受け止め、一人一人が母校の誇りと自覚を持って乗り切ろうとしています。この我慢の生活が、次のステージで必ず役に立つと確信します。

また、この困難の中での先生方のご苦労を心より労い、感謝申し上げます。

㊾**福山小学校**

会長　川崎　あすか

本年度、初めてPTA会長の役に就かせていただきましたが、コロナ禍の中、行事等も少なく、先生方に支えてもらいながら2学期を終えました。児童数が少ない学校ならではの、地域の方々との交流が減り、改めて人とのつながりの大切さを実感しました。

㊿**牧之原小学校**

会長　久木田　大和

連日コロナ対応をされている方々へ深く感謝致します。この状況の中で子ども達の為にできることをやる、やれることをやってきました。変化を恐れる事なく、今の状況から何が生みだせるかを考えていきます。明るい未来を自分たちで作ります!

牧之原中学校
会長　西　貴幸

今年度は、PTA活動が縮小、制限され、正直、やや寂しさと物足りなさを感じた年でした。しかし、生徒・教職員、保護者、地域の皆様の感染対策における意識の高さで、我が地域から発症がなかったことは大変喜ばしいことであります。一日も早く収束に向かえばと願うばかりです。

(52)**福山高等学校**

会長　山田　香

新型コロナウイルスが猛威をふるい、例年になく活動の制限が余儀なくされ、学校行事は規模縮小、PTA活動は軒並み中止、後援会の方との交流も格段に少なくなりました。そんな中で可能な限り行事を実施して下さった先生方、生徒たちを思い温かく見守り続けて下さっている後援会の方々には深く感謝しています。学校と地域と家庭が一丸となって、もっと自由に伸び伸びと交流できる日が一日でも早く来ることを切に願っています。

(53)**牧之原養護学校**

会長　菅　勝美

本年度はコロナの影響で、多くの行事を中止せざるを得ませんでした。特に本校は校区が広く、保護者だけでなく教職員の皆様も警戒に追われたと聞いています。なるだけ早くコロナが終息して通常の生活に戻れることを切に願っています。

編集後記

集まることが難しい中、会うこと・人を知ることの大切さをあらためて感じました。日常の中に、たくさんの嬉しいこと、楽しいことがあることに気づきました。

ＰＴＡ活動も皆さんを知り、繋がることができて、有意義な活動になります。

一日も早く日常が戻ることを願い、皆様への感謝と共に「市Ｐ連だより」をお届けしました。

「ありがとうございました。」